

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 76
施策	333	スポーツの振興	
5年後の目標		心身の健康を保つため、運動・スポーツに親しみ、これを通じた交流を楽しんでいる。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課
	総合型地域スポーツクラブ 推進事業	会計	款	項	目	19,187,887	文化・スポーツ 振興室
		一般	10	5	1		
	事業の概要						
	生涯スポーツ社会の実現のため、全ての小学校区での総合型地域スポーツクラブの設立に向けた支援を行います。						

平成30年度の実績						
D (取組)	指標	総合型地域スポーツクラブの設立数				単位 小学校区
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1 2
	5(平成26年度)	目標	6	7	8	9 10
		実績	6	7	7	
	・ 定着活動2年目である長岡第十小学校総合型スポーツクラブ（倶楽部・てん）に対し、活動支援として30万円を補助し、クラブの運営基盤づくりに取り組みました ・ 地域スポーツの振興を図るため、スポーツに親しむ行事等の実施を各校区に委託しました。 ・ 未設立地区に対しては、長岡京総合型地域スポーツクラブ協議会と連携し、設立に向けた働きかけを継続的に実施しました。				スポーツフェスティバルの様子(長九小) 	

施策の「5年後の目標」に対する評価						
平成30年度の達成状況						
C (評価)	評価指標	関連する評価指標		評価指標の傾向・トレンド		対応頁
		市民スポーツ実施率		年代別でみると、20歳代～40歳代の運動実施率が低く、若年層や働き盛り世代に対する運動・スポーツの機会や場の提供が求められます。		203
	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%～100%程度)	達成状況	・ 現在、長法寺小学校、長岡第三小学校、長岡第四小学校、長岡第五小学校、長岡第七小学校、長岡第九小学校、長岡第十小学校の7つの校区で総合型地域スポーツクラブが設立されています。 ・ 長八小校区の地域コミュニティ代表者へ助言と支援を行うなかで、次年度の総合型スポーツクラブの設立に向けた具体的な協議が進展しました。		
	課題等	・ 未設立の校区は、校区ごとに設立に向けた関心度が異なります。 ・ 未設立の校区に対し、地域住民が総合型地域スポーツクラブの設立意義を理解し、組織の設立や実施意欲を高めるための活動が必要です。				

目標達成に向けての次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1: 計画通りに進めることが適当	・ 総合型地域スポーツクラブの未設立校区には、引き続き総合型地域スポーツクラブの意義について啓発し、その必要性について理解を求めます。 ・ 新しく設立された総合型地域スポーツクラブに対しては、活動拠点の整備に向けて調整していきます。

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 77
施策	333	スポーツの振興	
5年後の目標		心身の健康を保つため、運動・スポーツに親しみ、これを通じた交流を楽しんでいる。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課
	スポーツ交流推進事業	会計	款	項	目	10,249,047	文化・スポーツ 振興室
		一般	10	5	1		
		事業の概要					
市民が地域で運動やスポーツに親しむ全市的なイベントを開催します。 また、小中学校の体育施設を開放し、運動やスポーツのできる環境の確保に努めます。							

平成30年度の取組						
D (取組)	指標	学校開放利用件数				単位 件
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1 2
	9,805 (平成26年度)	目標	9,800	9,800	9,800	9,800
		実績	9,283	9,752	9,627	
	・市民大運動会を全校区一斉に開催しました。 ・市民が運動・スポーツに親しむ機会を提供するため、市民スポーツフェスティバルを開催しました。また、西山公園体育館で新たに西山キッズパークを開催し、幼児もスポーツに参加できる取り組みを実施しました。 ・市民がスポーツをする機会を提供するため、小中学校施設を開放しました。 ・地域スポーツの振興を図るため、スポーツに親しむ行事等の実施を各校区に委託しました。				市民運動会の様子(神足小) 	

施策の「5年後の目標」に対する評価						
平成30年度の達成状況						
C (評価)	評価指標	関連する評価指標		評価指標の傾向・トレンド		対応頁
		市民スポーツ実施率		年代別でみると、20歳代～40歳代の運動実施率が低く、若年層や働き盛り世代に対する運動・スポーツの機会や場の提供が求められます。		203
	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%～100%程度)	達成状況	・ 台風21号の影響により学校体育施設が被害を受け、体育館利用が長期にわたりできなかった学校があったことから、学校開放利用件数は目標及び実績とも昨年度を下回る結果となりました。		
	課題等	・ 学校開放の利用者が固定化しており、新たな利用者・団体等の利用が進んでいません。				

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	方向性 1: 計画通りに進めることが適当 対応策等 ・市民大運動会の参加者を増やすための取組みとして始まった「長岡京ギネス(玉入れ)」は引き続き実施します。 ・学校開放事業を市民に広く利用してもらうことができるよう、広報に努めるとともに、学校開放運営協議会を通じた利用者相互の円滑な調整を図ります。

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 78
施策	333	スポーツの振興	
5年後の目標		心身の健康を保つため、運動・スポーツに親しみ、これを通じた交流を楽しんでいる。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	若葉カップ全国小学生 バドミントン大会支援事業		会計	款	項	目	5,708,120	文化・スポーツ 振興室
			一般	10	5	1		
	事業の概要							
	全国の小学生にバドミントン競技をする機会を広く提供し、交流と友情を深めるために、若葉カップ全国小学生バドミントン大会の実施を支援します。 また、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に合わせて、世界各国の子どもたちとの交流と国際理解を深め、子どもたちの国際社会での活躍を願いバドミントン競技によるスポーツ交流事業を展開します。							

平成30年度の取組						
D (取組)	指標	若葉カップ開催支援の継続				単位 ー
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1 2
	若葉カップ開催 (平成26年度)	目標	若葉カップ開催支援	若葉カップ開催支援	若葉カップ開催支援	若葉カップ開催支援
		実績	若葉カップ開催	若葉カップ開催	若葉カップ開催	
	・若葉カップの開催を支援するため、実行委員会へ補助金を交付しました。 ・市内の小学校区の総合型クラブ及び学校開放運営協議会に協力を依頼し、大会期間中は、体育館を参加チームの練習会場として確保しました。 ・「長岡京市 未来への種まきプロジェクト」と称し、若葉カップの開催時期に合わせて、友好交流都市である中華人民共和国の寧波市の小学生バドミントンチームを招へいし、全国のチームや地元長岡京市と交流試合を実施しました。また、市のイベントで紹介しました。				若葉カップの様子 	

施策の「5年後の目標」に対する評価						
平成30年度の達成状況						
C (評価)	評価指標	関連する評価指標		評価指標の傾向・トレンド		対応頁
		—		—		—
	達成度合	A:目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	・市最大のスポーツ大会である若葉カップ全国小学生バドミントン大会を開催しました。また、中国寧波市の小学生バドミントンチームを開催時期に合わせて招へいし、全国のチームや市と交流する機会を設けることで、「バドミントンのまち」長岡京市としてのイメージを全国や世界に発信しました。		
	課題等	・小学生全国若葉カップバドミントン大会は、毎年全国のクラブチームが参加し認知されつつありますが、平成30年度に実施した市民意識調査によると、本市の認知度は46.6%と十分な状況にないことから、より一層、市民や全国に認知されるように取り組む必要があります。				

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	方向性 1: 計画通りに進めることが適当 対応策等 ・長岡京市「長岡京市 未来への種まきプロジェクト」の3年目として、若葉カップの開催時期にあわせ、海外の小学生バドミントンチームを招へいします。 ・市のリーディング事業等を活用し、若葉カップのより効果的な広報を実施します。

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 79
施策	333	スポーツの振興	
5年後の目標		心身の健康を保つため、運動・スポーツに親しみ、これを通じた交流を楽しんでいる。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目				決算額(円)	担当課
	スポーツ活動推進・支援事業		会計	款	項	目	47,376,000	文化・スポーツ 振興室
			一般	10	5	1		
			事業の概要					
スポーツ振興を図るため、長岡京市体育協会の活動へ支援を行います。								

平成30年度の取組						
D (取組)	指標	府民総体予選会参加市民数				単位 人
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1 2
	1,146 (平成26年度)	目標	1,180	1,210	1,240	1,270 1,300
		実績	1,067	1,160	991	
	・市内スポーツ団体を統括する団体でもあり、行政の役割を補完する団体でもある公益財団法人長岡京市スポーツ協会の組織の基盤強化、加盟団体の育成支援を図るために補助金を交付しました。 ・公益財団法人長岡京市スポーツ協会の補助事業のなかで、新たに幼児元気アップ推進を実施し、子どもの体力・運動能力の向上、スポーツ活動の支援に取り組みました。 ・府民総体壮行会や報告会を行い、参加者の機運を盛り上げる取り組みを行いました。				体育協会事業「みんなのスポーツデー」 	

施策の「5年後の目標」に対する評価						
平成30年度の達成状況						
C (評価)	評価指標	関連する評価指標		評価指標の傾向・トレンド		対応頁
		市民スポーツ実施率		年代別でみると、20歳代～40歳代の運動実施率が低く、若年層や働き盛り世代に対する運動・スポーツの機会や場の提供が求められます。		203
	達成度合	B:目標をほぼ達成できた(目標の80%～100%程度)	達成状況	・目標及び実績は昨年度を下回りました。 ・総合第7位に入賞し、スポーツ推進計画の目標の一つである「常時入賞」は達成しました。 ・公益財団法人長岡京市スポーツ協会に対し、補助金の交付及び活動支援を行いました。 ・バドミントンジュニア強化に取り組み、若葉カップにおいて、男女チーム共に3位という成果を収めました。		
	課題等	・参加者のさらなる増加が課題となっています。				

目標達成に向けての次年度以降の対応						
A (行動)	方向性	対応策等				
	1: 計画通りに進めることが適当	・市民に対する運動スポーツの振興と市民全体の体力向上に向け核となる組織であるため、安定的に事業運営ができるよう支援していきます。 ・府民総体参加者の機運を盛り上げるための壮行会や報告会を引き続き開催します。				

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 80
施策	333	スポーツの振興	
5年後の目標		心身の健康を保つため、運動・スポーツに親しみ、これを通じた交流を楽しんでいる。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目				決算額(円)	担当課
	スポーツ施設環境の整備	会計	款	項	目	35,922,780	文化・スポーツ 振興室	
		一般	8	4	6			
		一般	10	5	2	16,665,475		
	事業の概要							
多くの市民が利用する体育館など、運動・スポーツ施設の環境を改善するため施設整備を進めます。								

平成30年度の取組							
D (取組)	指標	体育館等施設利用者数(西山公園体育館・スポーツセンター)				単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	239,289 (平成26年度)	目標	252,500	255,000	257,500	260,000	262,500
		実績	207,930	256,477	281,407		
	・西山公園体育館及びスポーツセンターについては、自然災害により破損した設備の改修を速やかに行い、スポーツ環境を整備しました。また、スポーツセンターは、施設改修の規模や内容について検討しました。					改修完了後の西山公園体育館 	

施策の「5年後の目標」に対する評価					
平成30年度の達成状況					
	評価指標	関連する評価指標		評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		—		—	—
C（評価）	達成度合	A:目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	・利用者数が前年度の目標値を上回りました。 ・老朽化した設備の定期修繕及び、自然災害により破損した設備の緊急修繕を実施しました。	
	課題等	・スポーツセンターの体育館の耐震化、グラウンドの拡張などを踏まえた施設全体の建替えについて検討を進める必要があります。 ・西山公園体育館についても、老朽化した設備の計画的な更新を行う必要があります。			

目標達成に向けての次年度以降の対応		
	方向性	対応策等
A (行動)	1:計画通りに進めることが適当	・対応が必要な施設について、個別施設計画を策定し、改修方法、改修規模、改修時期などについての整理を進めていきます。